

# 令和2年度 次世代省エネ建材支援事業 調査報告書

---

2022年1月



# 目次

## 第1章 補助事業の概要

- |     |               |    |
|-----|---------------|----|
| 1-1 | 補助事業の概要       | 3  |
| 1-2 | 補助対象製品ごとの導入状況 | 6  |
| 1-3 | 補助対象製品の登録状況   | 13 |

## 第2章 事業者アンケート調査実績報告

- |     |                 |    |
|-----|-----------------|----|
| 2-1 | 実施概要            | 15 |
| 2-2 | 調査結果サマリー(単純集計)  | 16 |
| 2-3 | 調査結果サマリー(クロス集計) | 24 |

# **第1章 補助事業の概要**

**1-1 補助事業の概要**

**1-2 補助対象製品ごとの導入状況**

**1-3 補助対象製品の登録状況**

# **第2章 事業者アンケート調査実績報告**

**2-1 実施概要**

**2-2 調査結果サマリー(単純集計)**

**2-3 調査結果サマリー(クロス集計)**

# 1-1 補助事業の概要

## 1-1-1. 補助事業の概要

- 短工期で施工可能な高性能断熱パネルや潜熱蓄熱建材、調湿建材等の付加価値を有する省エネ建材を用いた断熱改修を行う「次世代建材支援事業」及び、外張り断熱にて住宅の外皮全ての断熱改修を行う「次世代リフォーム実証事業」について支援を行った。

	令和2年度 次世代建材支援事業	令和2年度 次世代リフォーム実証事業
事業要件 (主なポイント)	登録製品を用いて断熱改修を行う事業 ・いずれかの必須製品を用いて改修すること 必須製品：断熱パネル、潜熱蓄熱建材 任意製品：断熱材、窓、玄関ドア、ガラス、調湿建材 ・製品ごとの施工要件を満たすこと	外張り断熱にて断熱改修を行う事業 ・外気に接する部分全てを改修すること ・外壁は外張り断熱工法にて改修すること ・規定のUA値を満たすこと
補助金額	補助率 1 / 2 以内 補助金の上限額 戸建住宅：200万円/戸 集合住宅：125万円/戸	補助率 1 / 2 以内 補助金の上限額 戸建住宅：300万円/戸
採択方式	先着順	審査採択方式
住宅区分	戸建住宅・集合住宅	戸建住宅

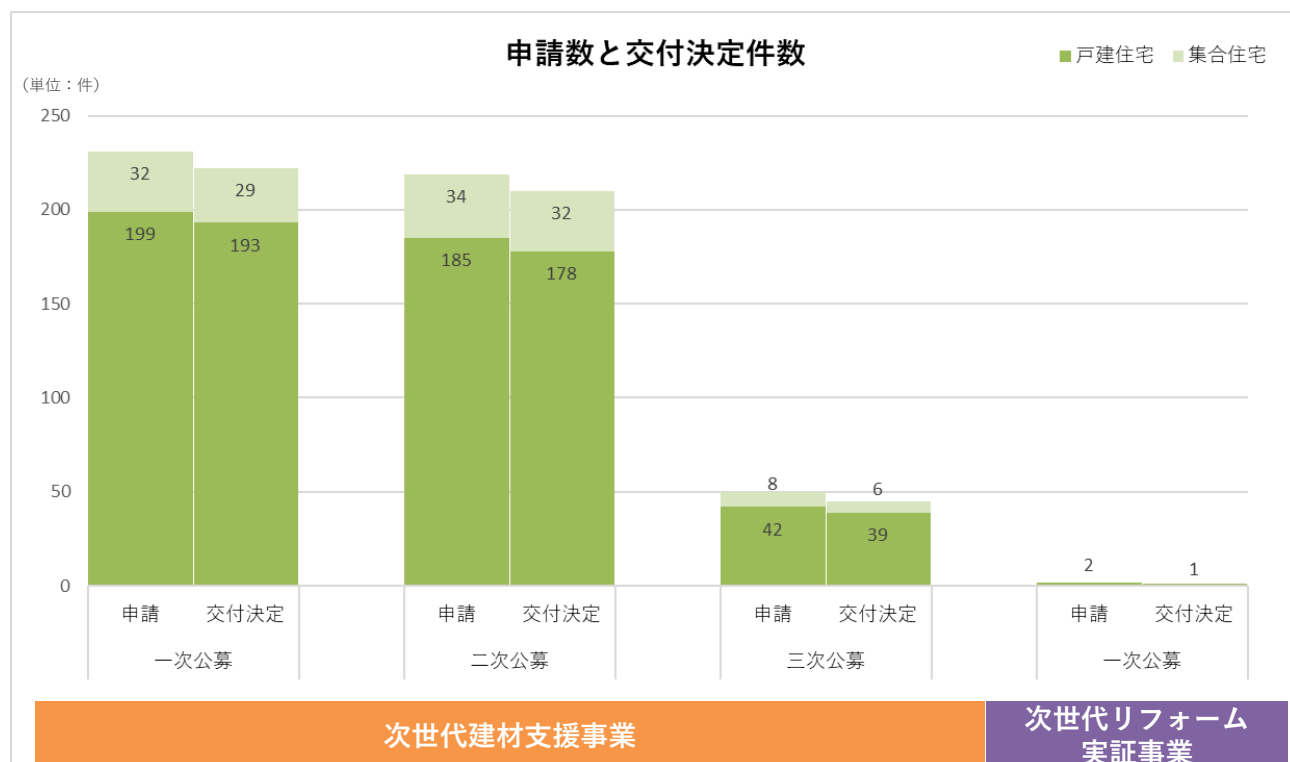
## 1-1-2. 事業スケジュール

➤ 事業スケジュールは以下のとおり。

年間予定		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
次世代建材支援事業	一次公募 ・公募期間 2020年5月11日～7月17日 ・事業期間 2020年12月11日まで		○	→	○						○		
	二次公募 ・公募期間 2020年8月17日～10月30日 ・事業期間 2021年1月15日まで					○	→	○				○	
	三次公募 ・公募期間 2020年11月2日～11月20日 ・事業期間 2021年1月29日まで								○	→	○		○
次世代リフォーム実証事業	一次公募 ・公募期間 2020年6月1日～7月17日 ・事業期間 2021年1月29日まで		○	→	○								○

## 1-1-3. 申請数と交付決定件数

➤ 交付申請のあった502件の内、478件に対して交付決定を行った。



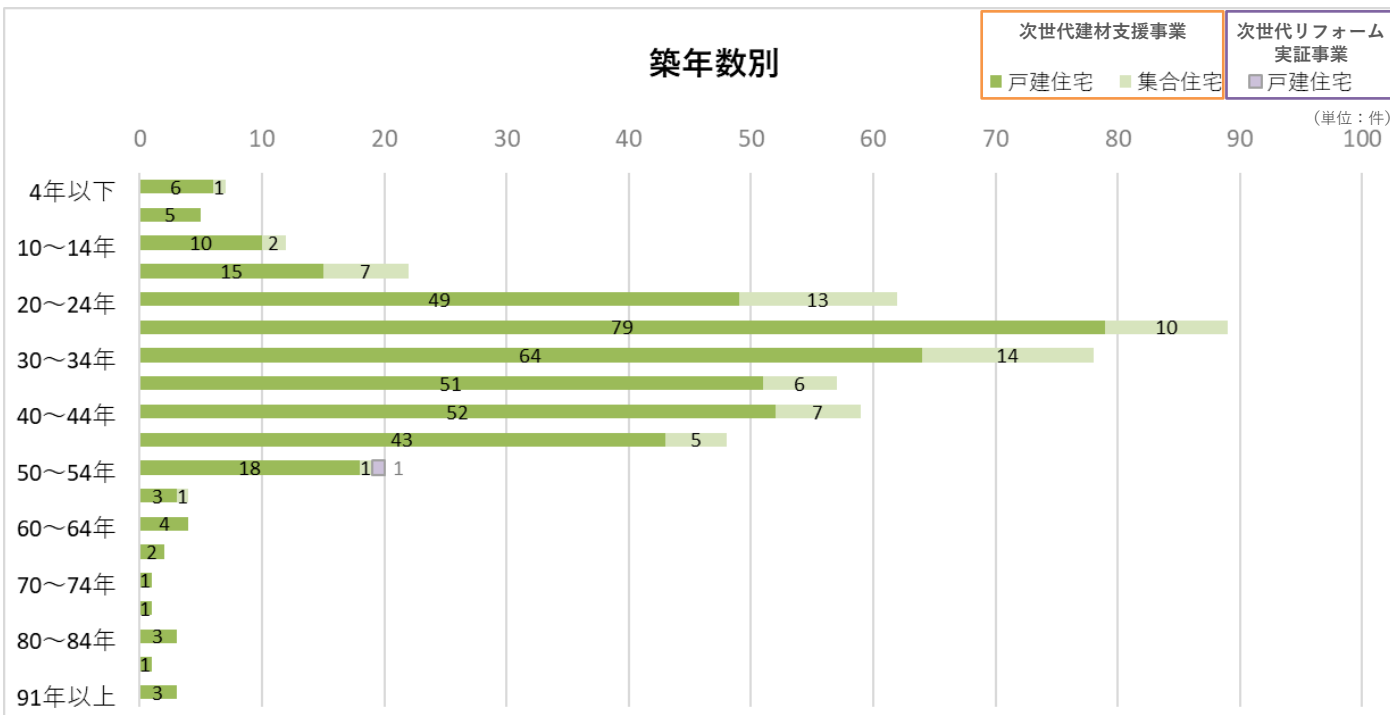
# 1-1-4. 都道府県別 交付決定件数

▶ 都道府県ごとの交付決定件数は以下のとおり。



# 1-1-5. 築年数別 交付決定件数

▶ 築年数ごとの交付決定件数は以下のとおり。

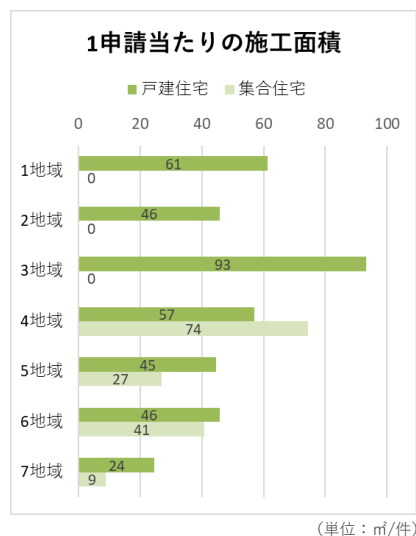
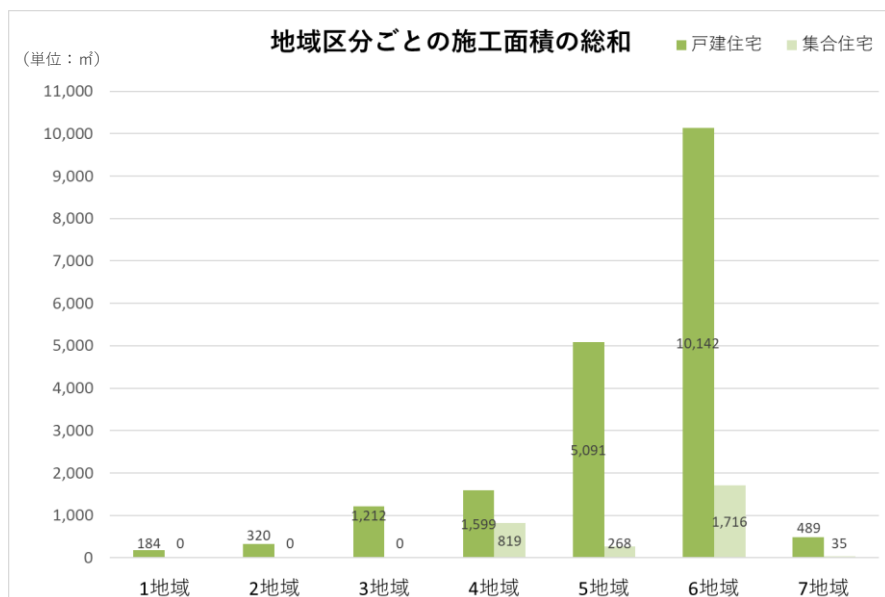


# 1-2 補助対象製品ごとの導入状況

## <地域区分別>

### 1-2-1. 地域区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数：断熱パネル

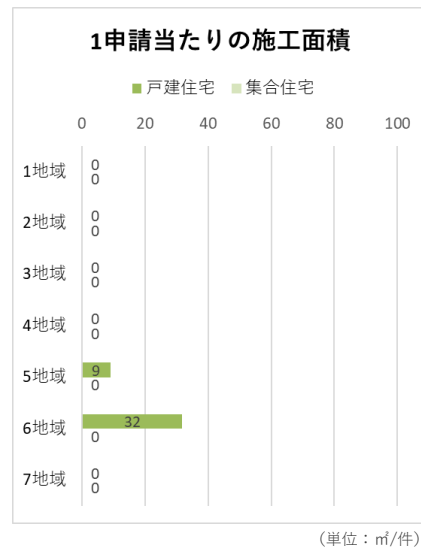
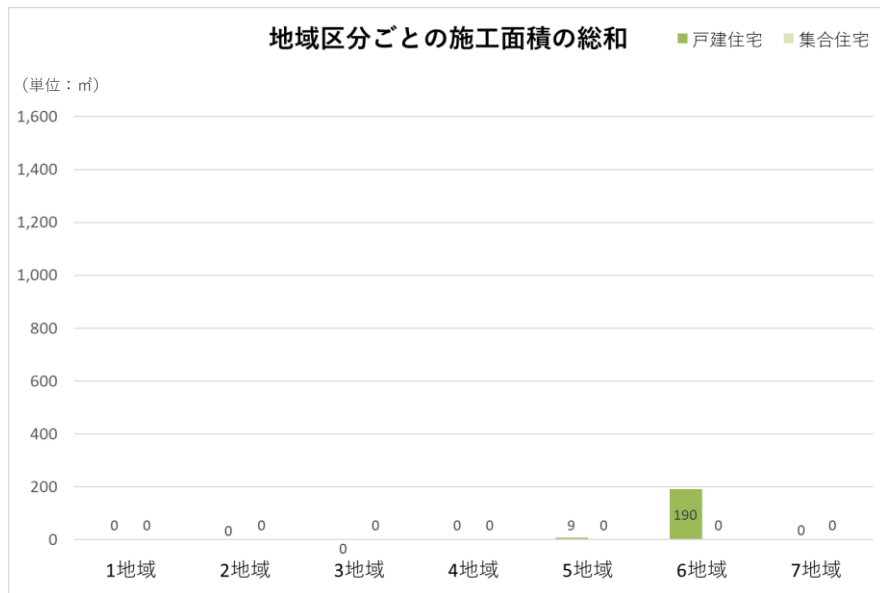
➤ 断熱パネルの施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
戸建住宅	施工面積 (㎡)	184	320	1,212	1,599	5,091	10,142	489	0
	交付決定件数 (件)	3	7	13	28	114	221	20	0
集合住宅	施工面積 (㎡)	0	0	0	819	268	1,716	35	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0	11	10	42	4	0

## 1-2-2. 地域区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数：潜熱蓄熱建材

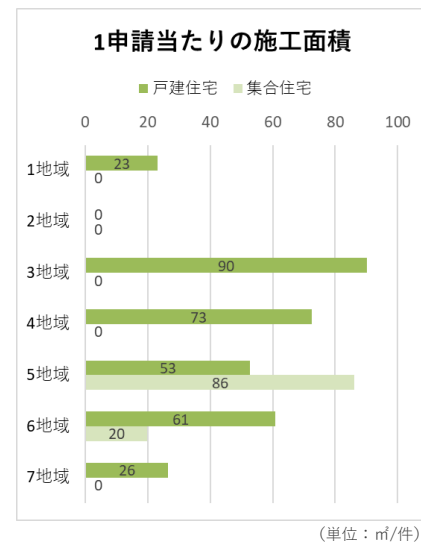
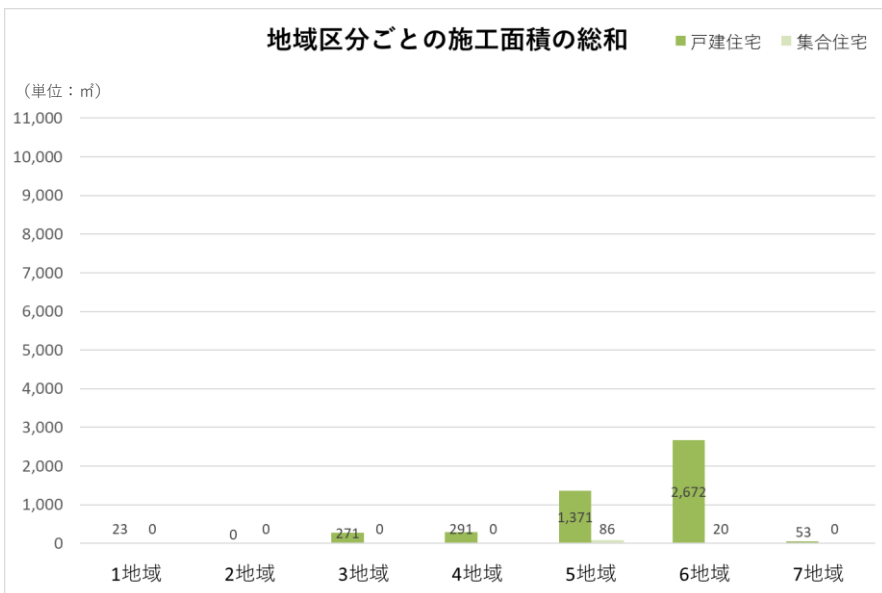
▶ 潜熱蓄熱建材の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
戸建住宅	施工面積 (㎡)	0	0	0	0	9	190	0	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0	0	1	6	0	0
集合住宅	施工面積 (㎡)	0	0	0	0	0	0	0	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0

## 1-2-3. 地域区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数：断熱材

▶ 断熱材の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。

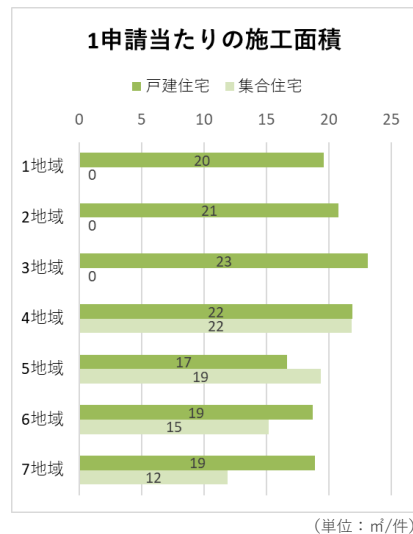
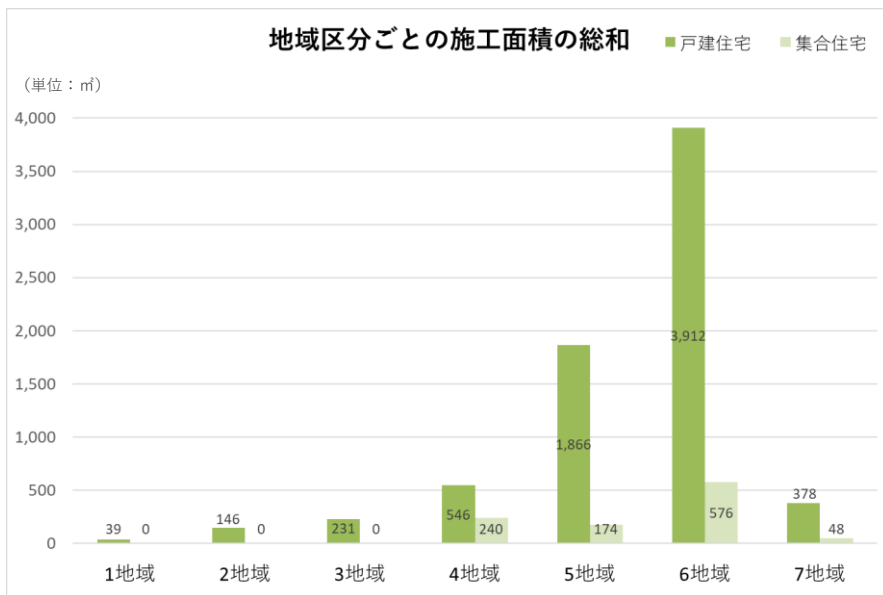


		1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
戸建住宅	施工面積 (㎡)	23	0	271	291	1,371	2,672	53	0
	交付決定件数 (件)	1	0	3	4	26	44	2	0
集合住宅	施工面積 (㎡)	0	0	0	0	86	20	0	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0	0	1	1	0	0



## 1-2-4. 地域区別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数:窓

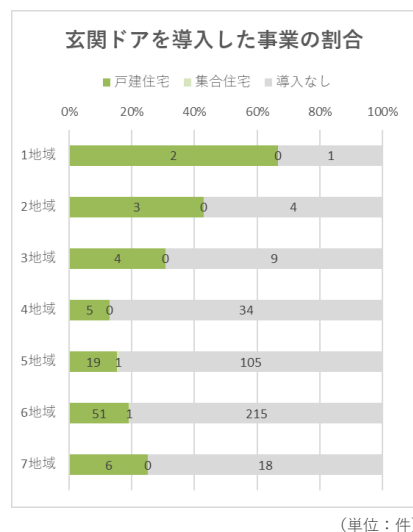
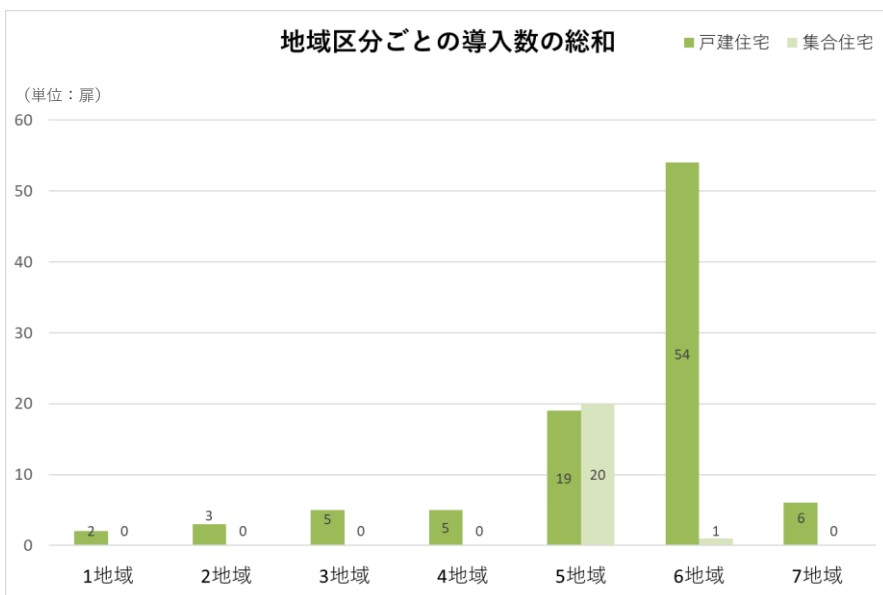
窓の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
戸建住宅	施工面積 (m <sup>2</sup> )	39	146	231	546	1,866	3,912	378	0
	交付決定件数 (件)	2	7	10	25	112	209	20	0
集合住宅	施工面積 (m <sup>2</sup> )	0	0	0	240	174	576	48	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0	11	9	38	4	0

## 1-2-5. 地域区別 補助対象製品ごとの導入数と交付決定件数:玄関ドア

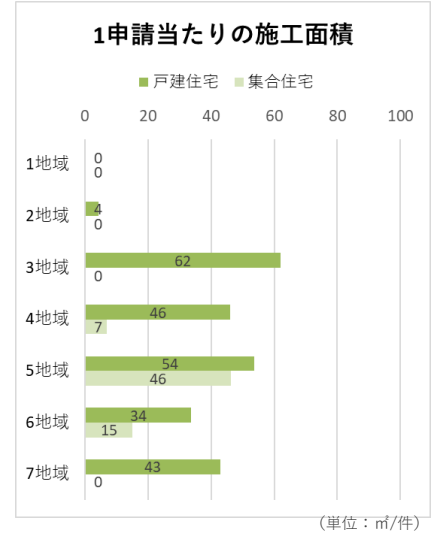
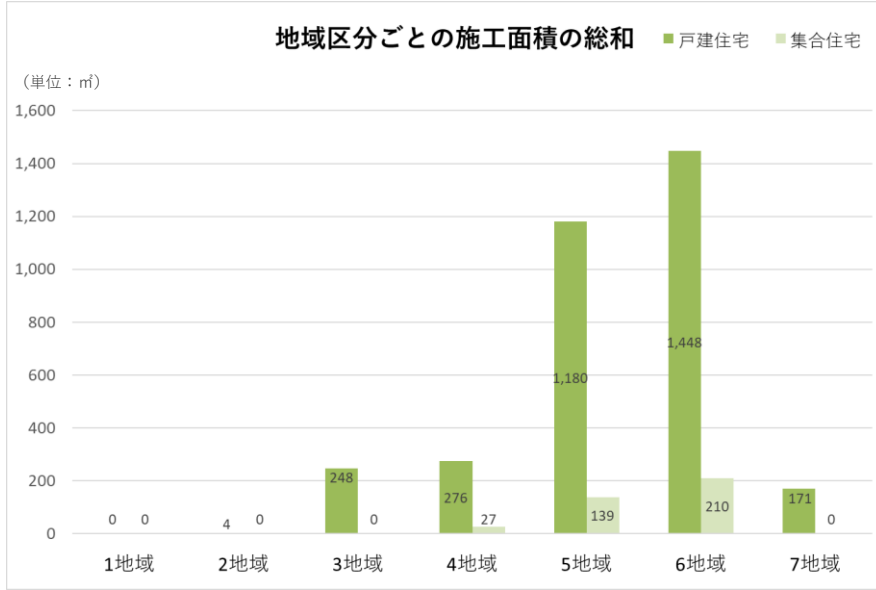
玄関ドアの導入数と交付決定件数は以下のとおり。



		1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
戸建住宅	設置数 (扉)	2	3	5	5	19	54	6	0
	交付決定件数 (件)	2	3	4	5	19	51	6	0
集合住宅	設置数 (扉)	0	0	0	0	20	1	0	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0	0	1	1	0	0

# 1-2-6. 地域区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数：調湿建材

➤ 調湿建材の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。

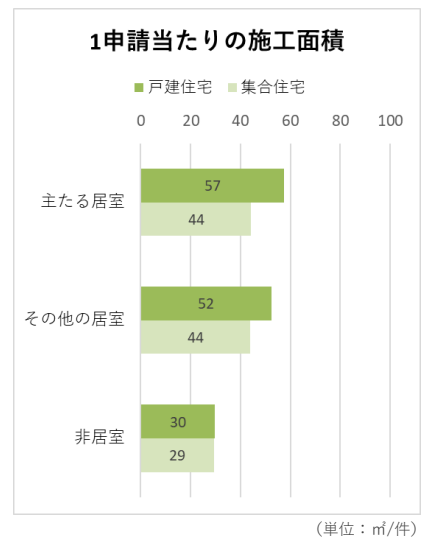
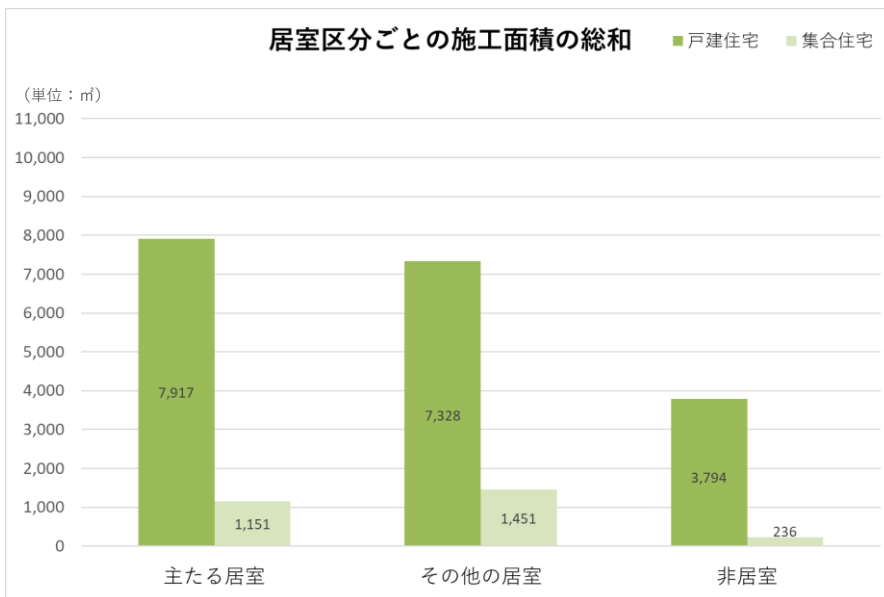


		1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
戸建住宅	施工面積 (㎡)	0	4	248	276	1,180	1,448	171	0
	交付決定件数 (件)	0	1	4	6	22	43	4	0
集合住宅	施工面積 (㎡)	0	0	0	27	139	210	0	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0	4	3	14	0	0

## <居室区分別>

### 1-2-7. 居室区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数：断熱パネル

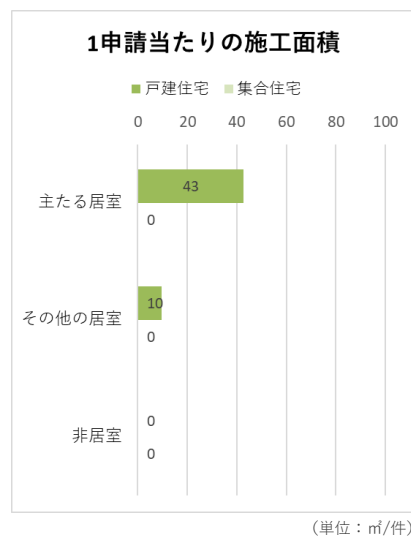
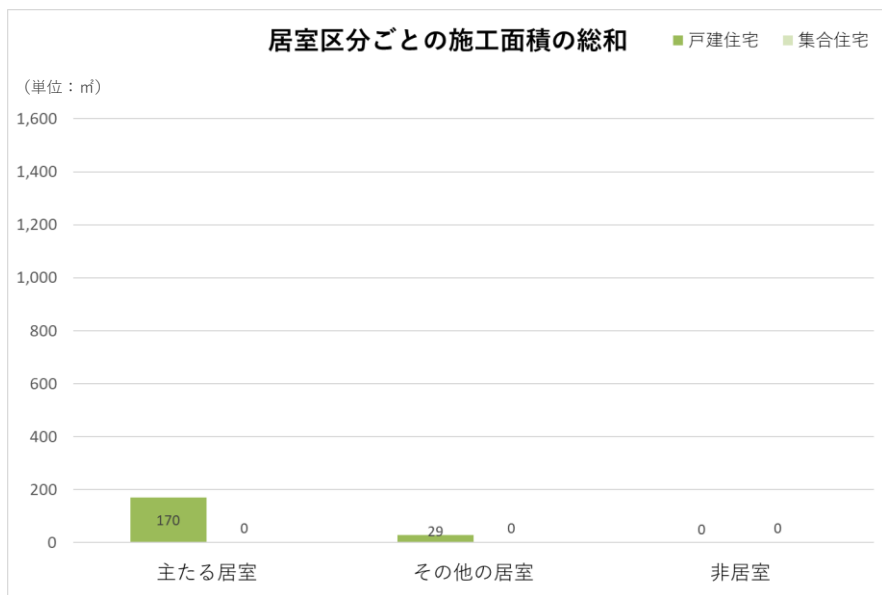
➤断熱パネルの施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		主たる居室	その他の居室	非居室
戸建住宅	施工面積 (m)	7,917	7,328	3,794
	交付決定件数 (件)	138	140	128
集合住宅	施工面積 (m)	1,151	1,451	236
	交付決定件数 (件)	26	33	8

## 1-2-8. 居室区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数:潜熱蓄熱建材

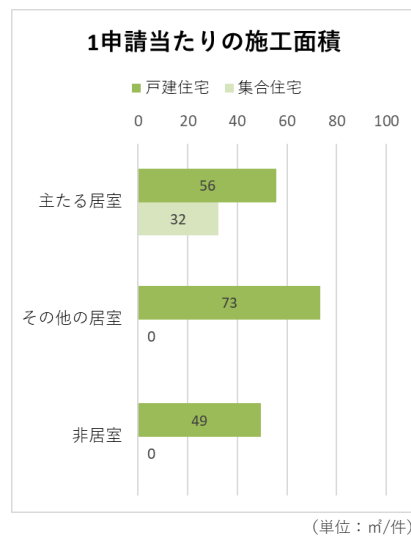
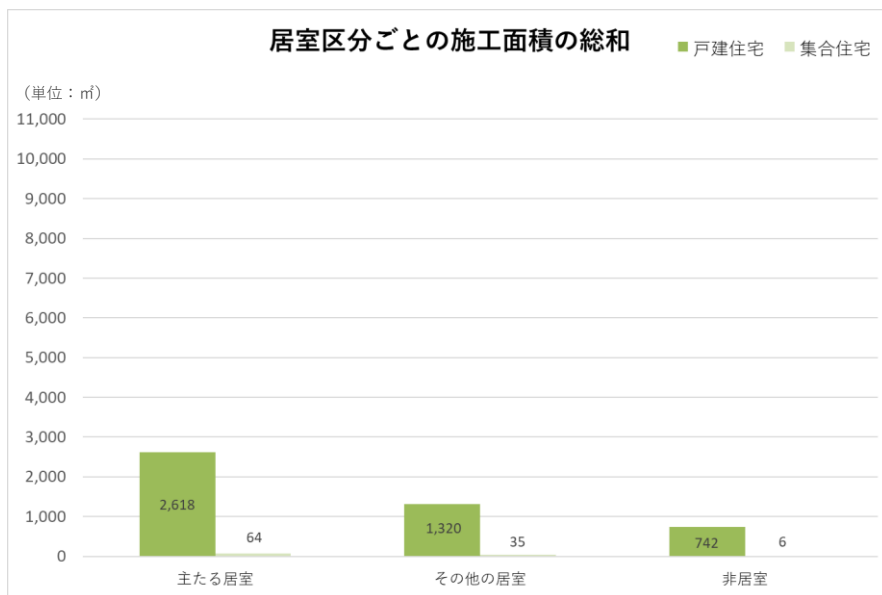
▶ 潜熱蓄熱建材の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		主たる居室	その他の居室	非居室
戸建住宅	施工面積 (m <sup>2</sup> )	170	29	0
	交付決定件数 (件)	4	3	0
集合住宅	施工面積 (m <sup>2</sup> )	0	0	0
	交付決定件数 (件)	0	0	0

## 1-2-9. 居室区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数:断熱材

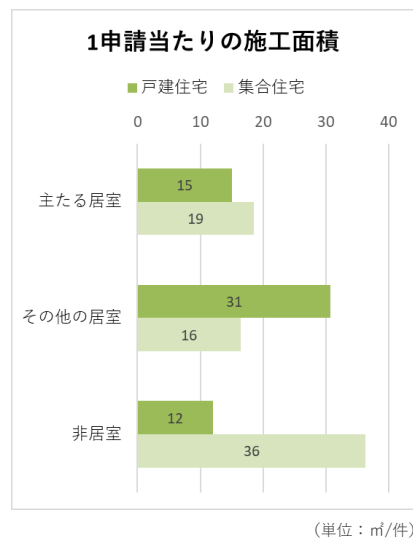
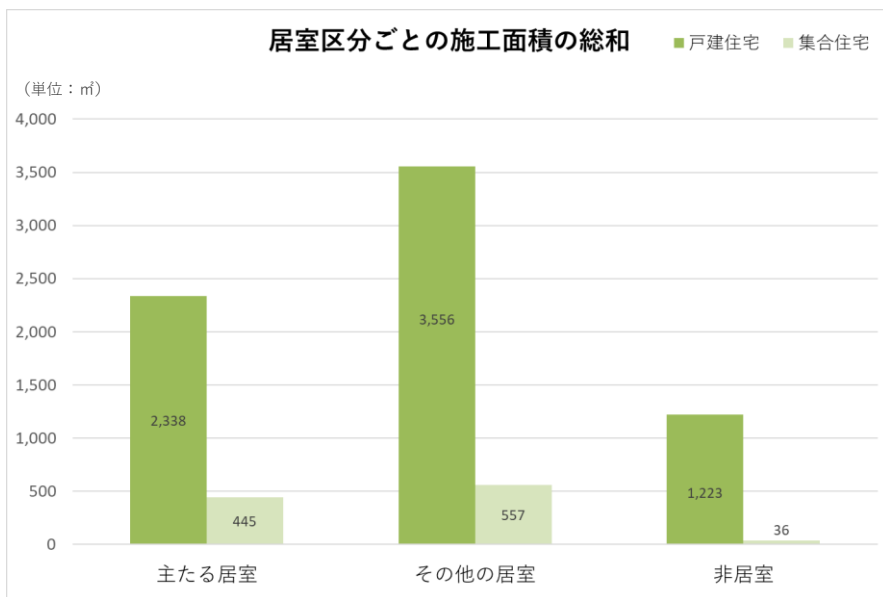
▶ 断熱材の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		主たる居室	その他の居室	非居室
戸建住宅	施工面積 (m <sup>2</sup> )	2,618	1,320	742
	交付決定件数 (件)	47	18	15
集合住宅	施工面積 (m <sup>2</sup> )	64	35	6
	交付決定件数 (件)	2	0	0

## 1-2-10. 居室区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数:窓

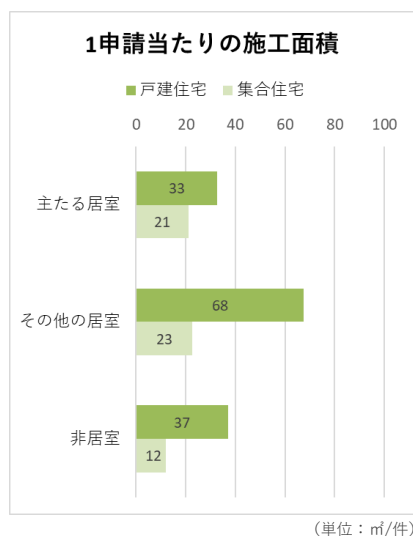
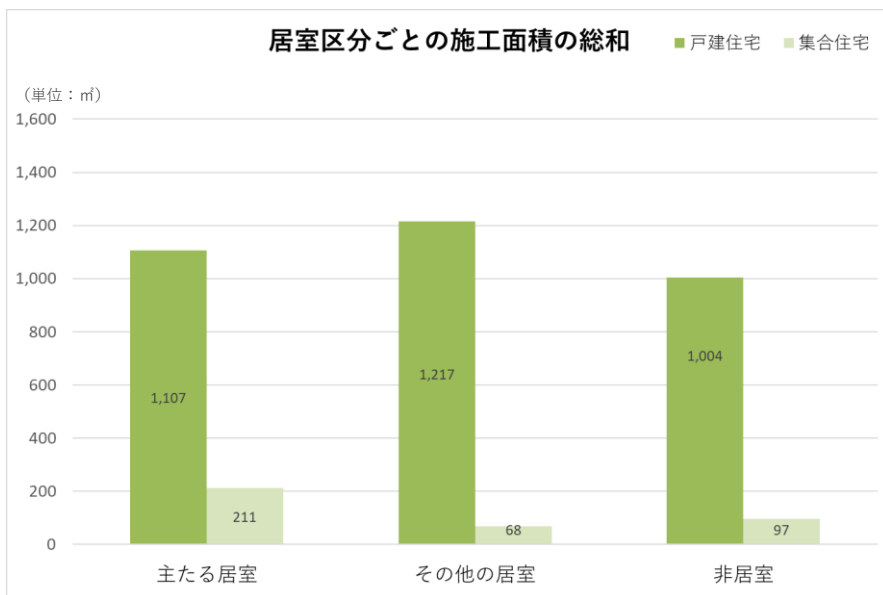
➤ 窓の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		主たる居室	その他の居室	非居室
戸建住宅	施工面積 (m)	2,338	3,556	1,223
	交付決定件数 (件)	155	116	102
集合住宅	施工面積 (m)	445	557	36
	交付決定件数 (件)	24	34	1

## 1-2-11. 居室区分別 補助対象製品ごとの施工面積と交付決定件数:調湿建材

➤ 調湿建材の施工面積と交付決定件数は以下のとおり。



		主たる居室	その他の居室	非居室
戸建住宅	施工面積 (m)	1,107	1,217	1,004
	交付決定件数 (件)	34	18	27
集合住宅	施工面積 (m)	211	68	97
	交付決定件数 (件)	10	3	8

# 1-3 補助対象製品の登録状況

## 1-3. 補助対象製品登録件数

▶ 製品区分ごとの補助対象製品登録件数は以下のとおり。

(単位：型番)

製品区分	メーカー名	登録数
断熱パネル	アキレス株式会社	1
	旭化成建材株式会社	9
	株式会社ウッドワン	1
	株式会社カネカ	36
	株式会社 J S P	32
	デュボン・スタイロ株式会社	3
	株式会社ハイブリッチコーポレーション	6
	株式会社プレスボード	20
	株式会社 L I X I L	2
計	9メーカー	110

製品区分	メーカー名	登録数
潜熱蓄熱建材	永大産業株式会社	3
	株式会社カネカ	1
	住化プラスチック株式会社	8
	千代田インテグレ株式会社	4
	チヨダウーテ株式会社	2
	DICデコール株式会社	1
	株式会社ネギシ	8
	三木理研工業株式会社	5
計	8メーカー	32

製品区分	メーカー名	登録数		
		カバー-工法窓	外窓 (防火仕様)	内窓
窓	アルメタックス株式会社	0	0	2
	株式会社ウッドワン	0	0	4
	A G C 株式会社	0	0	4
	株式会社エクセルシャノン	7	3	0
	株式会社栗原	6	0	4
	クレティシ株式会社	0	1	0
	三協立山株式会社	1	7	6
	大信工業株式会社	0	0	3
	株式会社日本の窓	9	3	6
	不二サッシ株式会社	0	2	0
	株式会社 L I X I L	11	13	10
	Y K K A P 株式会社	13	19	2
	計	12メーカー	47	48

製品区分	メーカー名	登録数
玄関ドア	三協立山株式会社	3
	株式会社 L I X I L	45
	Y K K A P 株式会社	7
	計	3メーカー
調湿建材	アイカ工業株式会社	5
	朝日ウッドテック株式会社	1
	株式会社エーアンドエーマテリアル	1
	大建工業株式会社	12
	チヨダウーテ株式会社	2
	ニッコー株式会社	1
株式会社 LIXIL	3	
計	7メーカー	25

## 第1章 補助事業の概要

1-1 補助事業の概要

1-2 補助対象製品ごとの導入状況

1-3 補助対象製品の登録状況

## 第2章 事業者アンケート調査実績報告

2-1 実施概要

2-2 調査結果サマリー(単純集計)

2-3 調査結果サマリー(クロス集計)

## 2-1 実施概要

### 2-1. 実施概要

#### ➤ 調査目的

本事業で断熱改修を実施した補助事業者に対し、アンケート収集・調査を行うことにより補助事業の効果を把握し、申請及び実績データと合わせて分析・評価を行う。

#### ➤ 調査概要

##### - 調査対象

令和2年度 次世代省エネ建材支援事業 補助事業者

##### - 調査対象エリア

全国

##### - 調査手法

郵送調査

##### - 調査期間

断熱改修工事完了～2021年2月



## 2-2 調査結果サマリー(単純集計)

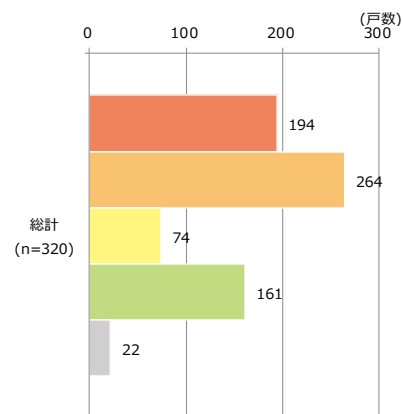
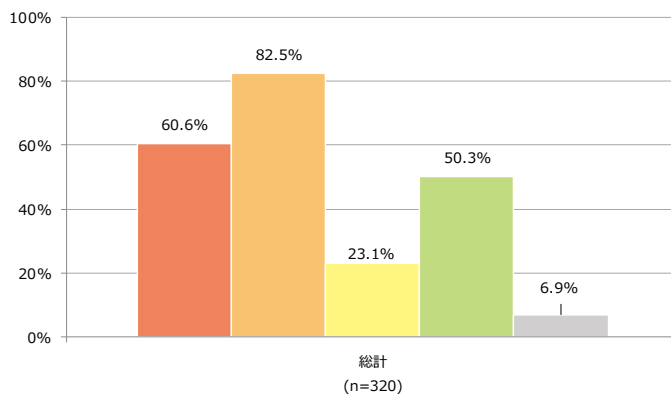
### 2-2-1. リフォーム工事を実施した理由

- リフォーム工事を実施した理由について、最も多いのは「室内の暑さ／寒さ対策」で、全体の82.5%
- 次いで「築年数に応じた老朽化のメンテナンスのため」が約60%。

リフォーム工事実施の理由

(n=320)

- 築年数に応じた老朽化のメンテナンスのため
- 室内の暑さ／寒さへの対策のため
- 家族構成の変化・同居などのため
- 補助金制度があると知ったため
- その他

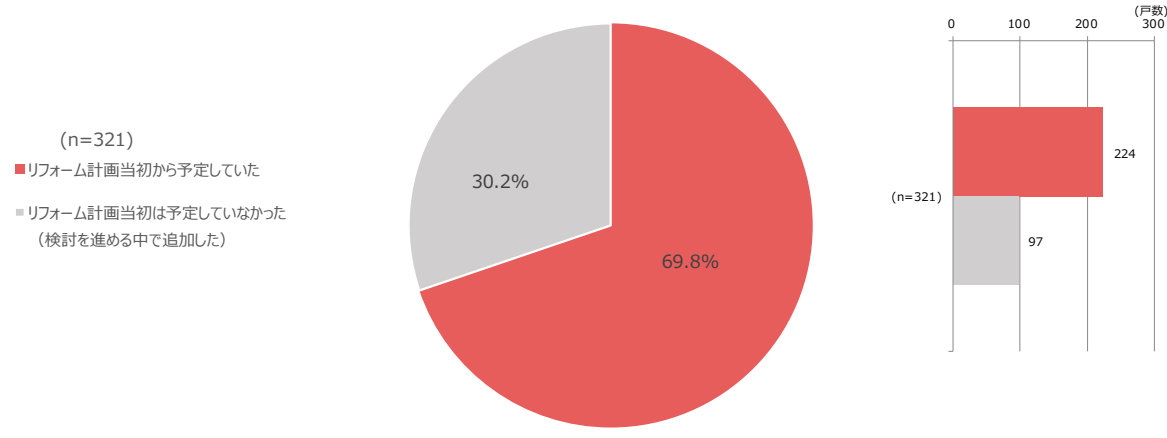


	N	築年数に応じた老朽化のメンテナンスのため	室内の暑さ／寒さへの対策のため	家族構成の変化・同居などのため	補助金制度があると知ったため	その他
総計	(320)	60.6%	82.5%	23.1%	50.3%	6.9%

## 2-2-2. リフォーム工事の計画当初から断熱改修工事の実施を予定していたか？

➤ 全体の7割は、リフォーム工事の計画当初から断熱改修工事を実施する予定であったのに対し、残る3割は、検討を進める中で断熱改修工事の実施を決めた。

計画当初の断熱改修工事実施予定

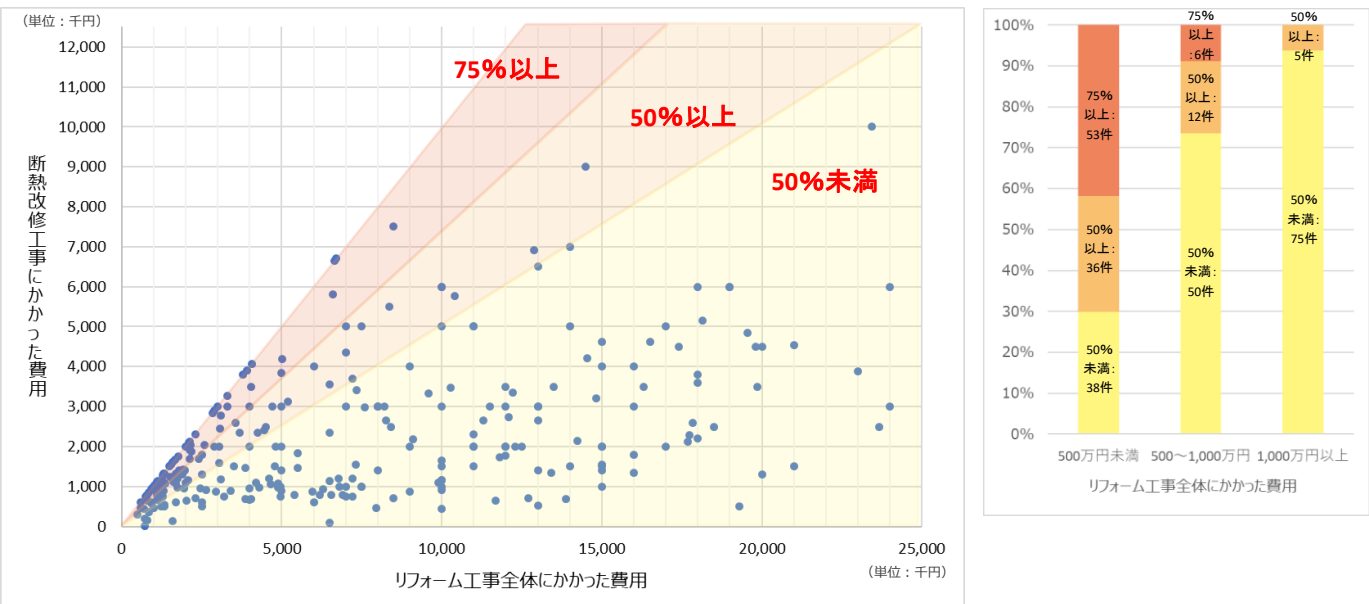


	N	リフォーム計画当初から予定していた	リフォーム計画当初は予定していなかった (検討を進める中で追加した)
総計	(321)	69.8%	30.2%

## 2-2-3. 断熱改修工事にかかった費用の割合

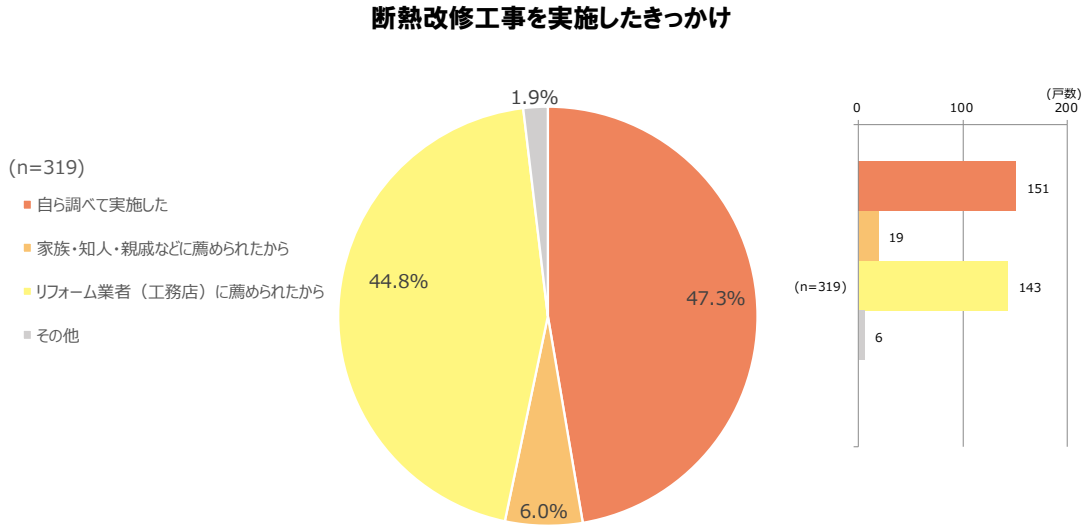
➤ リフォーム工事全体にかかった費用と断熱改修工事にかかった費用の相関は以下のとおり。  
 ➤ リフォーム工事全体の規模が小さいほど断熱改修工事にかかる費用の割合が大きい。

(n = 275) リフォーム工事費用と断熱改修工事費用の相関



## 2-2-4. 断熱改修工事を実施したきっかけ

➤断熱改修工事のきっかけは、「自ら調べて実施した」「リフォーム業者（工務店）に薦められて実施した」が各々半数程度であった。

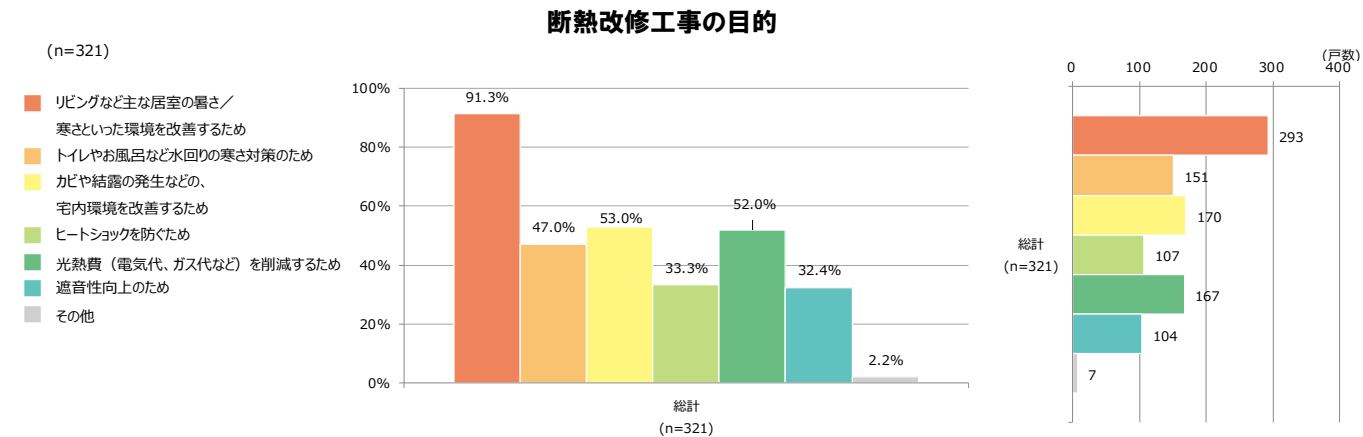


	N	自ら調べて実施した	家族・知人・親戚などに薦められたから	リフォーム業者（工務店）に薦められたから	その他
総計	(319)	47.3%	6.0%	44.8%	1.9%

## 2-2-5. 断熱改修工事の目的

➤「リビングなど主な居室の暑さ／寒さといった環境を改善するため」に断熱改修工事を実施したと回答した事業者が最も多く、91.3%。

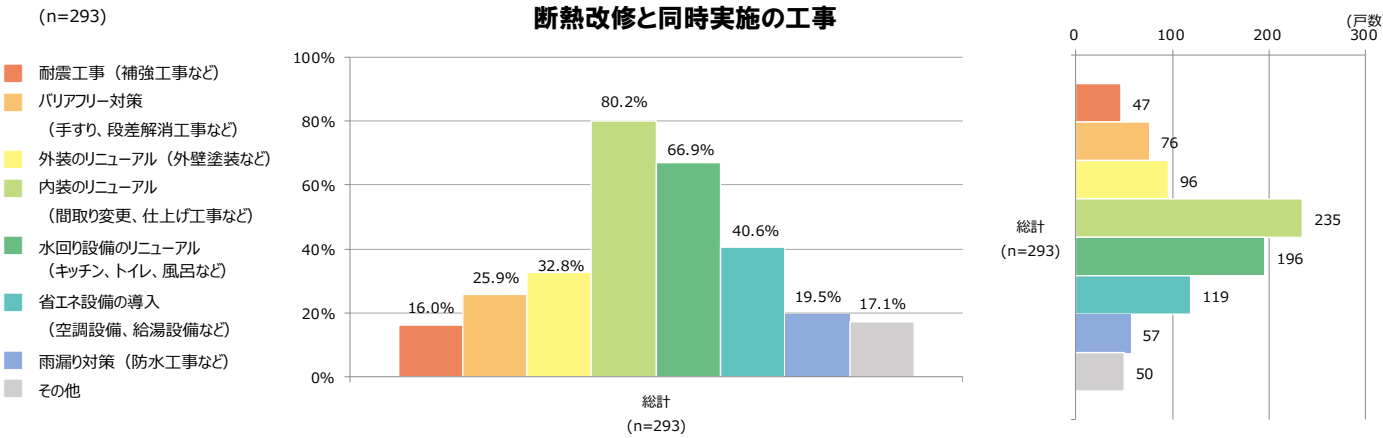
➤「カビや結露の発生などの、宅内環境を改善するため」「光熱費（電気代、ガス代など）を削減するため」と半数以上の事業者が回答。



	N	リビングなど主な居室の暑さ／寒さといった環境を改善するため	トイレやお風呂など水回りの寒さ対策のため	カビや結露の発生などの、宅内環境を改善するため	ヒートショックを防ぐため	光熱費（電気代、ガス代など）を削減するため	遮音性向上のため	その他
総計	(321)	91.3%	47.0%	53.0%	33.3%	52.0%	32.4%	2.2%

## 2-2-6. 断熱改修と同時に実施した工事

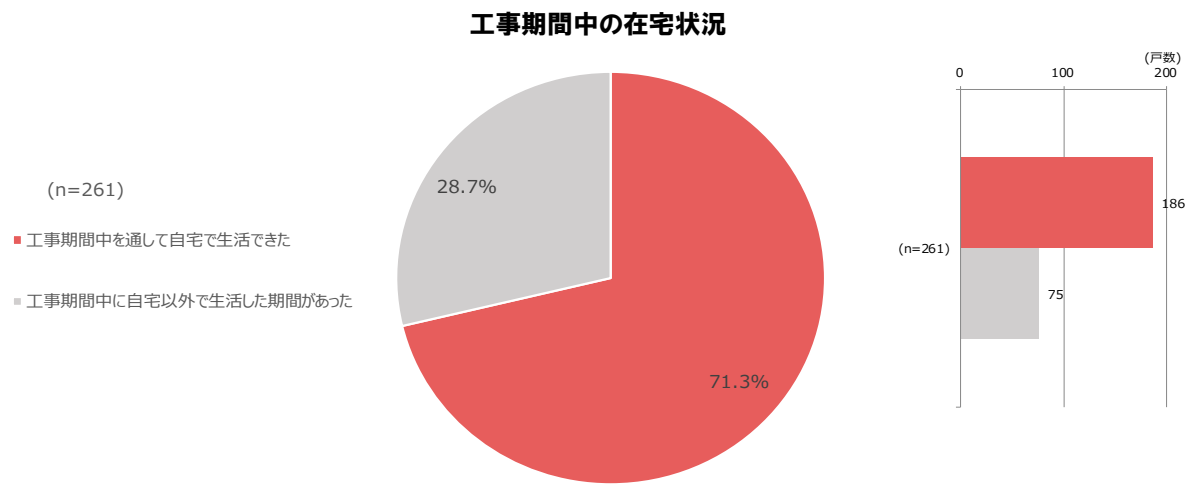
- 同時に実施した工事は、「内装のリニューアル（間取り変更、仕上げ工事など）」が最も多く、80.2%。
- 次点は「水回り設備のリニューアル（キッチン、トイレ、風呂など）」で、66.9%。
- その他の回答としては、「玄関ドア」や「二重サッシ」、「床材の張替え」の工事という回答が複数あった。



	N	耐震工事 (補強工事など)	バリアフリー対策 (手すり、段差解消工事など)	外装のリニューアル (外壁塗装など)	内装のリニューアル (間取り変更、仕上げ工事など)	水回り設備のリニューアル (キッチン、トイレ、風呂など)	省エネ設備の導入 (空調設備、給湯設備など)	その他
総計	(293)	16.0%	25.9%	32.8%	80.2%	66.9%	40.6%	17.1%

## 2-2-7. 工事期間中の在宅状況

- 工事期間中に自宅で生活できた事業者は、全体の71.3%。

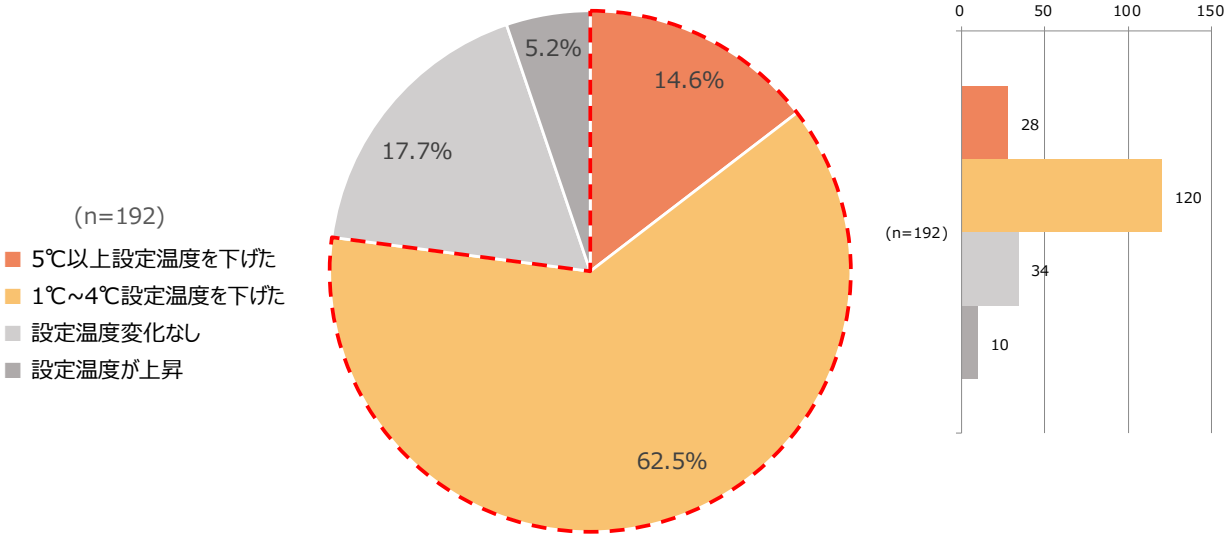


	N	工事期間中を通して自宅で生活できた	工事期間中に自宅以外で生活した期間があった
総計	(261)	71.3%	28.7%

## 2-2-8. 暖房設定温度の変化 ①主たる居室(ダイニング・リビング)

- 主たる居室の設定温度を改修前から1℃以上下げた事業者は全体の77.1%
- 断熱改修工事後の暖房設定温度は、平均で2.3℃低下。  
※「暖房は使っていない」と回答した事業者は38人。

断熱改修工事前後の暖房設定温度の変化

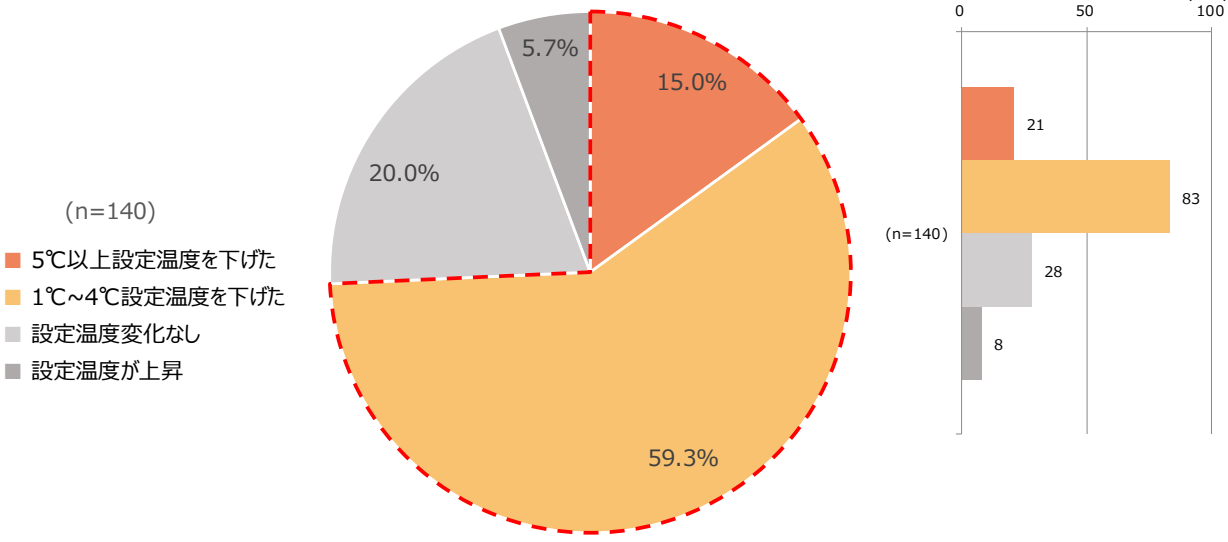


	N	5℃以上設定温度を下げた	1℃~4℃設定温度を下げた	設定温度変化なし	設定温度が上昇
総計	(192)	14.6%	62.5%	17.7%	5.2%

## 2-2-9. 暖房設定温度の変化 ②その他居室(客間、寝室、子供部屋等)

- その他居室の設定温度を改修前から1℃以上下げた事業者は全体の74.3%
- 断熱改修工事後の暖房設定温度は、平均で2.2℃低下。  
※「暖房は使っていない」と回答した事業者は38人。

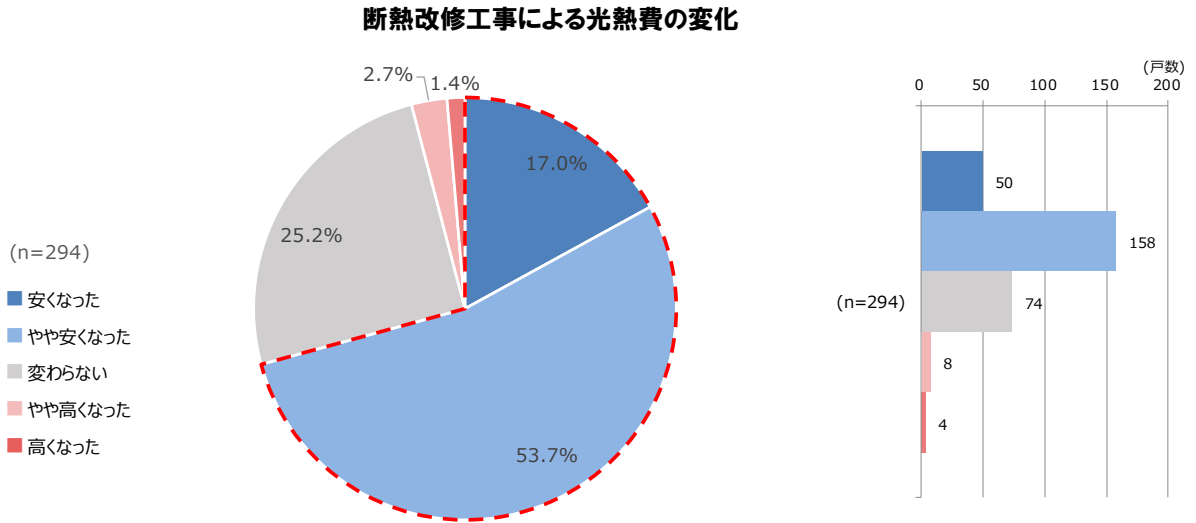
断熱改修工事前後の暖房設定温度の変化



	N	5℃以上設定温度を下げた	1℃~4℃設定温度を下げた	設定温度変化なし	設定温度が上昇
総計	(140)	15.0%	59.3%	20.0%	5.7%

## 2-2-10. 断熱改修工事による光熱費の変化

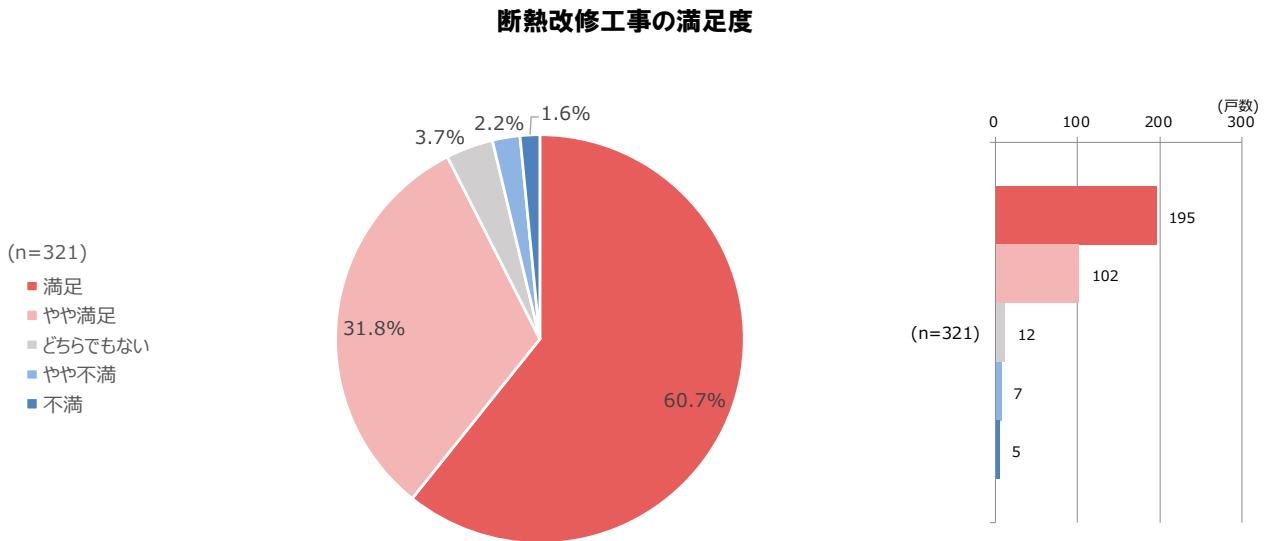
➤ 光熱費が、「安くなった」「やや安くなった」と回答した事業者は、全体の70.7%。



	N	安くなった	やや安くなった	どちらでもない	やや高くなった	高くなった
総計	(294)	17.0%	53.7%	25.2%	2.7%	1.4%

## 2-2-11. 断熱改修工事の満足度

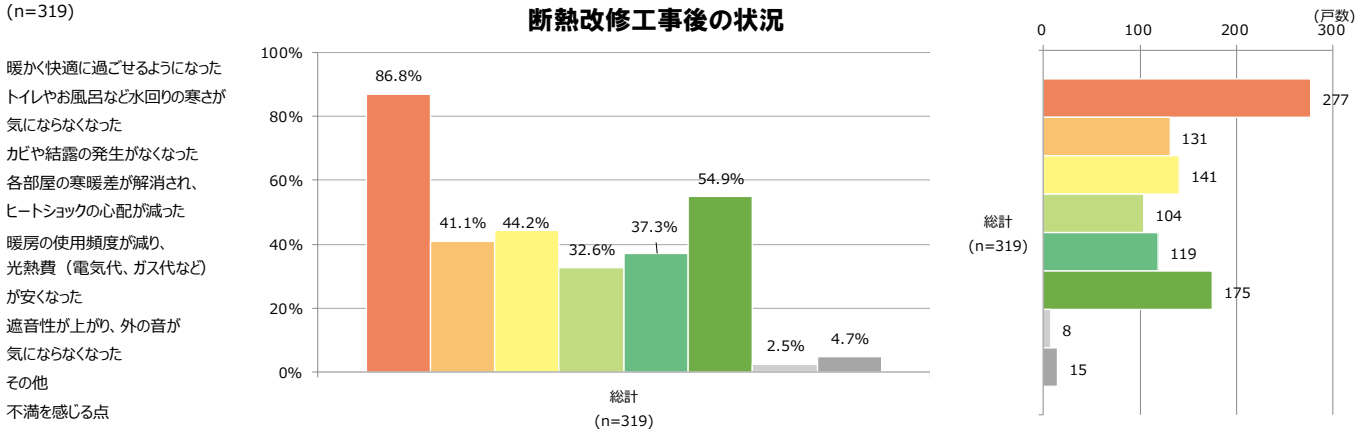
➤ 断熱改修工事について、「満足」「やや満足」と回答した事業者は、全体の92.5%。



	N	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
総計	(321)	60.7%	31.8%	3.7%	2.2%	1.6%

## 2-2-12. 断熱改修工事後の状況

- 「暖かく快適に過ごせるようになった」と回答した事業者が最も多く、86.8%であった。
- 次点は「遮音性が上がり、外の音が気にならなくなった」で、54.9%。
- 不満を感じる点として、「結露が発生する」「二重窓の開閉が大変」という回答が挙げられた。



	N	暖かく快適に過ごせるようになった	トイレやお風呂など水回りの寒さが気にならなくなった	カビや結露の発生がなくなった	各部屋の寒暖差が解消され、ヒートショックの心配が減った	暖房の使用頻度が減り、光熱費（電気代、ガス代など）が安くなった	遮音性が上がり、外の音が気にならなくなった	その他	不満を感じる点
総計	(319)	86.8%	41.1%	44.2%	32.6%	37.3%	54.9%	2.5%	4.7%

## 2-2-13. 断熱改修工事について、不満を感じる点

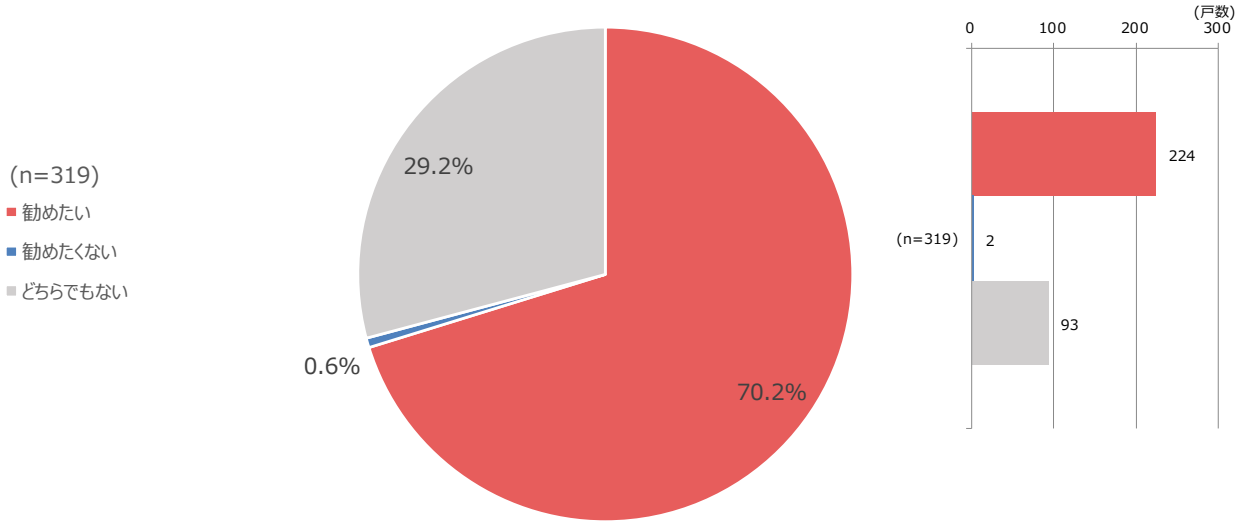
### 不満を感じる点(抜粋)

- ・期待した程の断熱が感じられない。
- ・室内ドアの施工が悪い為、断熱遮音が悪い。
- ・効果があまり感じられない。
- ・二重構造の窓が重く、開閉が面倒になった。
- ・窓が小さくなった。
- ・結露が発生する。
- ・金額に対してあまり変わらない。

## 2-2-14. 断熱改修工事の推奨意向

- 断熱改修工事を、知人・友人に「勧めたい」と回答した事業者は、全体の70.2%。
- 勧めたくない理由として、「工務店の設計・製品選定が悪い」「補助金を申請してくれる業者がなかなか見つからない」という回答が挙げられた。

断熱改修工事の推奨意向



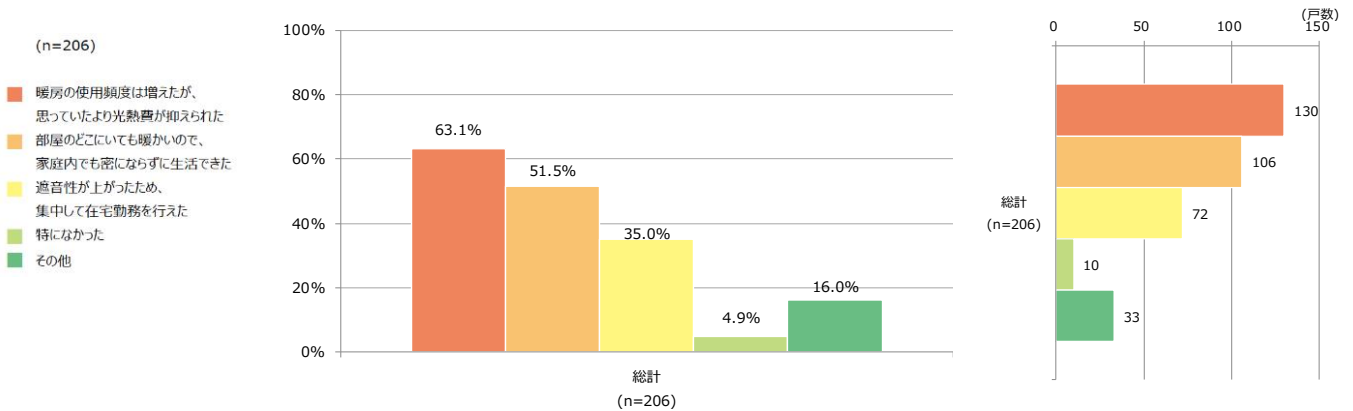
	N	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない
総計	(319)	70.2%	0.6%	29.2%

## 2-2-15. コロナ禍において在宅時間が増えたなかで断熱リフォームをして良かったと思うこと

※在宅時間が増えたと回答した事業者のみに聴取

- 「暖房の使用頻度は増えたが、思っていたより光熱費が抑えられた」と回答した事業者が最も多く、全体の63.1%。
- 「その他」には「結露がなくなった」「カビくさくなくて良い」といった回答が寄せられた。

断熱リフォームをして良かったと思うこと



	N	暖房の使用頻度は増えたが、思っていたより光熱費が抑えられた	部屋のどこにいても暖かいので、家庭内でも密にならずに生活できた	遮音性が上がったため、集中して在宅勤務を行えた	特になかった	その他	省エネ設備の導入（空調設備、給湯設備など）	その他
総計	(206)	63.1%	51.5%	35.0%	4.9%	16.0%	0.0%	0.0%



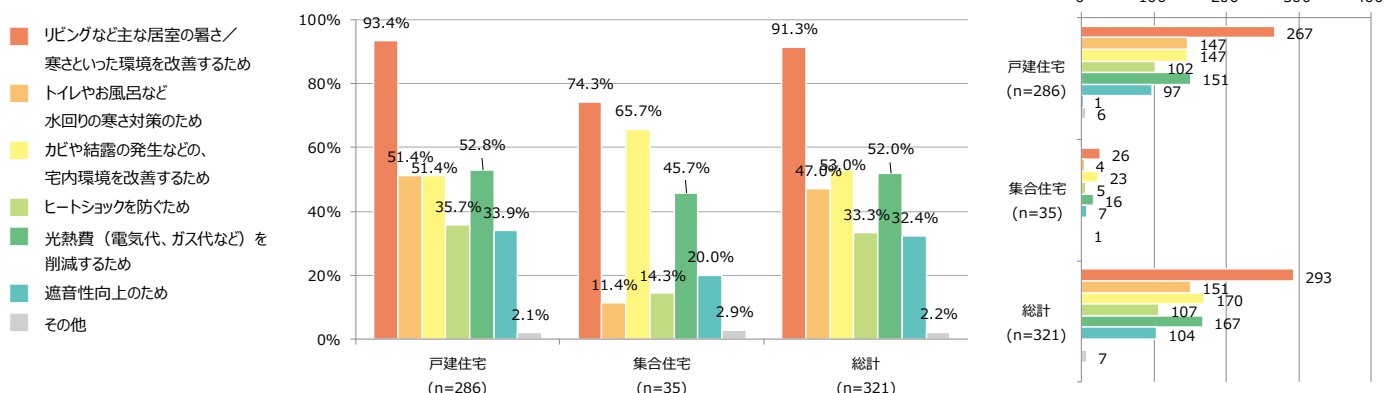
## 2-3 調査結果サマリー(クロス集計)

### <戸建住宅と集合住宅の違い>

#### 2-3-1. 断熱改修工事を実施した目的: 戸建住宅と集合住宅の違い

- 戸建住宅では、集合住宅と比べて「トイレやお風呂など水回りの寒さ対策のため」と回答した事業者の割合が高い。
- 集合住宅の事業者では、戸建住宅に比べて「カビや結露の発生などの、宅内環境を改善するため」の割合が高い。

断熱改修工事を実施した目的



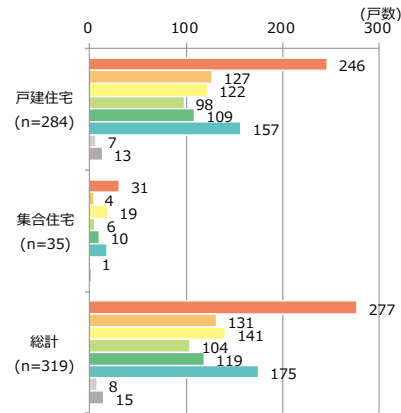
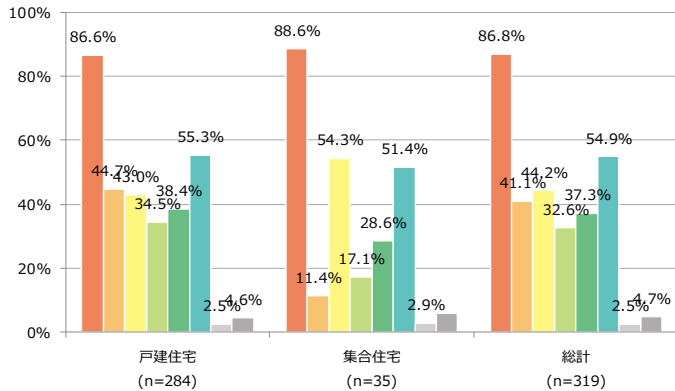
	N	リビングなど主な居室の暑さ/寒さといった環境を改善するため	トイレやお風呂など水回りの寒さ対策のため	カビや結露の発生などの、宅内環境を改善するため	ヒートショックを防ぐため	光熱費（電気代、ガス代など）を削減するため	遮音性向上のため	その他
戸建住宅	(286)	93.4%	51.4%	51.4%	35.7%	52.8%	33.9%	2.1%
集合住宅	(35)	74.3%	11.4%	65.7%	14.3%	45.7%	20.0%	2.9%
総計	(321)	91.3%	47.0%	53.0%	33.3%	52.0%	32.4%	2.2%

## 2-3-2. 断熱改修工事後の状況：戸建住宅と集合住宅の違い

- 戸建住宅では、集合住宅と比べて「トイレやお風呂など水回りの寒さが気にならなくなった」と回答した事業者の割合が高い。
- 集合住宅では、戸建住宅と比べて「カビや結露の発生がなくなった」と回答した事業者の割合が高い。

断熱改修工事後の状況

- 暖かく快適に過ごせるようになった
- トイレやお風呂など水回りの寒さが気にならなくなった
- カビや結露の発生がなくなった
- 各部屋の寒暖差が解消され、ヒートショックの心配が減った
- 暖房の使用頻が減り、光熱費（電気代、ガス代など）が安くなった
- 遮音性が上がり、外の音が気にならなくなった
- その他
- 不満を感じる点



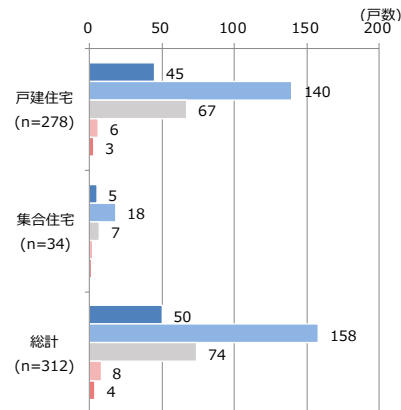
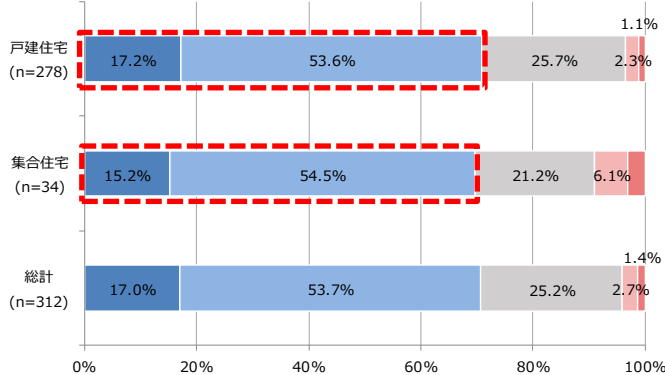
	N	暖かく快適に過ごせるようになった	トイレやお風呂など水回りの寒さが気にならなくなった	カビや結露の発生がなくなった	各部屋の寒暖差が解消され、ヒートショックの心配が減った	暖房の使用頻が減り、光熱費（電気代、ガス代など）が安くなった	遮音性が上がり、外の音が気にならなくなった	その他	不満を感じる点
戸建住宅	(284)	86.6%	44.7%	43.0%	34.5%	38.4%	55.3%	2.5%	4.6%
集合住宅	(35)	88.6%	11.4%	54.3%	17.1%	28.6%	51.4%	2.9%	5.7%
総計	(319)	86.8%	41.1%	44.2%	32.6%	37.3%	54.9%	2.5%	4.7%

## 2-3-3. 断熱改修工事による光熱費の変化：戸建住宅と集合住宅の違い

- 戸建住宅、集合住宅ともに光熱費が「安くなった」「やや安くなった」と回答した事業者の割合が約70%。

断熱改修工事による光熱費の変化

- 安くなった
- やや安くなった
- 変わらない
- やや高くなった
- 高くなった



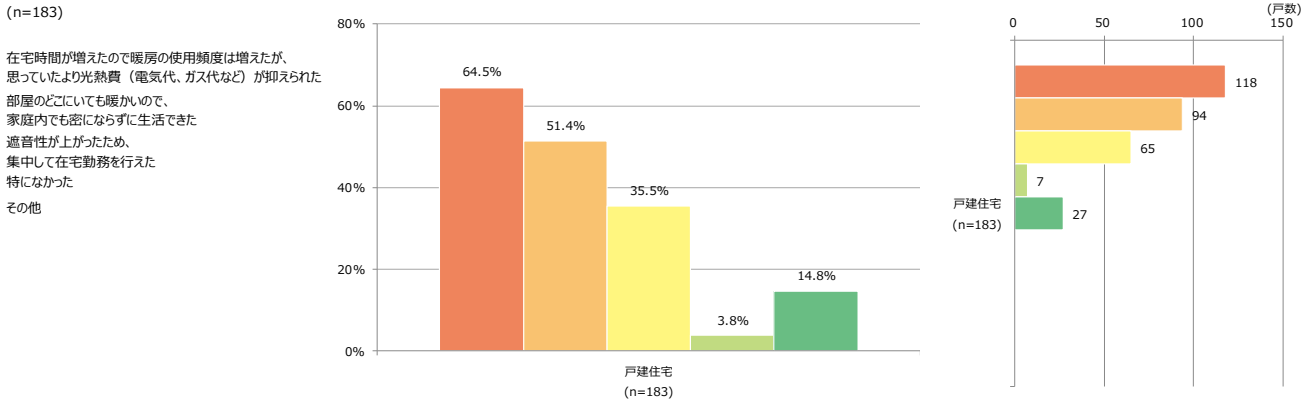
	N	安くなった	やや安くなった	変わらない	やや高くなった	高くなった
戸建住宅	(278)	17.2%	53.6%	25.7%	2.3%	1.1%
集合住宅	(34)	15.2%	54.5%	21.2%	6.1%	3.0%
総計	(312)	17.0%	53.7%	25.2%	2.7%	1.4%

## 2-3-4. コロナ禍において在宅時間が増えたなかで断熱リフォームをして良かったと思うこと：戸建住宅

※在宅時間が増えたと回答した事業者のみに聴取

- 戸建住宅においては、約96%の事業者がいずれかの断熱リフォームのメリットを回答した。
- 特に「在宅時間が増えたので暖房の使用頻度は増えたが、思っていたより光熱費(電気代、ガス代など)が抑えられた」と回答した事業者の割合が高い。

### 断熱リフォームをして良かったと思うこと：戸建住宅



	N	在宅時間が増えたので暖房の使用頻度は増えたが、思っていたより光熱費(電気代、ガス代など)が抑えられた	部屋のどこにおいても暖かいので、家庭内でも密にならずに生活できた	遮音性が上がったため、集中して在宅勤務を行えた	特になかった	その他
戸建住宅	(183)	64.5%	51.4%	35.5%	3.8%	14.8%

## 2-3-5. コロナ禍において在宅時間が増えたなかで断熱リフォームをして良かったと思うこと その他の回答内容：戸建住宅

※在宅時間が増えたと回答した事業者のみに聴取

### 戸建住宅 (抜粋)

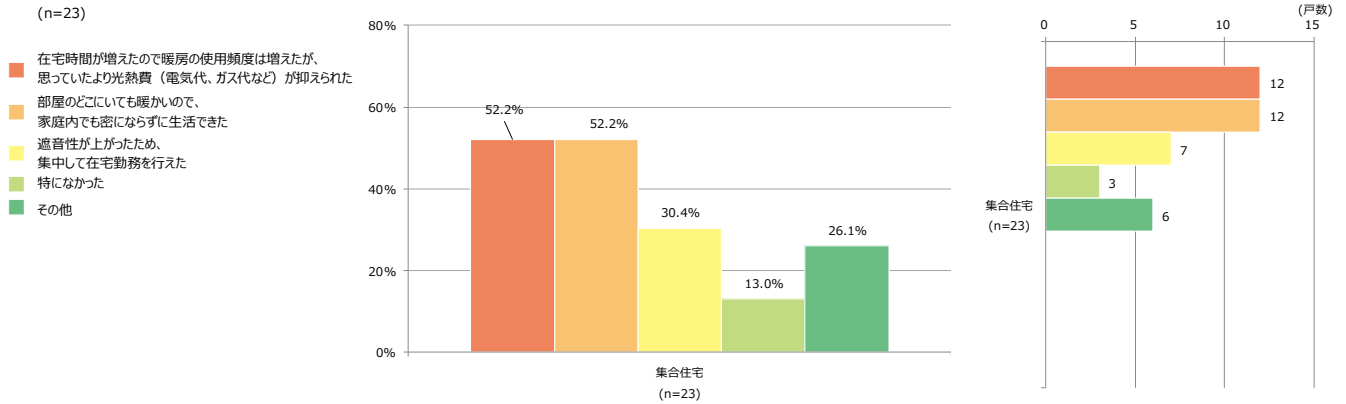
- ・真冬の風呂が苦にならなくなった。
- ・薄着で過ごせる。活動的になった。
- ・独身時代に住んでいた時と比べるとあたたかい、と思う。
- ・作業可能な室温になり、複数人のテレワークが室を分けてできるようになって良かった。
- ・外気の影響を受けにくく室内の温度変化が緩やかになりストレスが少なくなった。
- ・例年不快に思っていたコールドドラフトが無くなった。
- ・結露がなくなった。

## 2-3-6. コロナ禍において在宅時間が増えたなかで断熱リフォームをして良かったと思うこと:集合住宅

※在宅時間が増えたと回答した事業者のみに聴取

➤ 集合住宅においては、約87%の事業者がいずれかの断熱リフォームのメリットを回答した。

### 断熱リフォームをして良かったと思うこと:集合住宅



	N	在宅時間が増えたので暖房の使用頻度は増えたが、思っていたより光熱費（電気代、ガス代など）が抑えられた	部屋のどこにいても暖かいので、家庭内でも密にならずに生活できた	遮音性が上がったため、集中して在宅勤務を行えた	特になかった	その他
集合住宅	(23)	52.2%	52.2%	30.4%	13.0%	26.1%

## 2-3-7. コロナ禍において在宅時間が増えたなかで断熱リフォームをして良かったと思うこと

### その他の回答内容:集合住宅

※在宅時間が増えたと回答した事業者のみに聴取

#### 集合住宅(抜粋)

- ・寒すぎないので部屋でエアコンなしでも割と問題なく過ごせる。
- ・深夜に室温が下がらない為、トイレ使用時に冷えずに済んだ。
- ・厚着をしなくてすんだ。
- ・結露で困っていたが改善された。

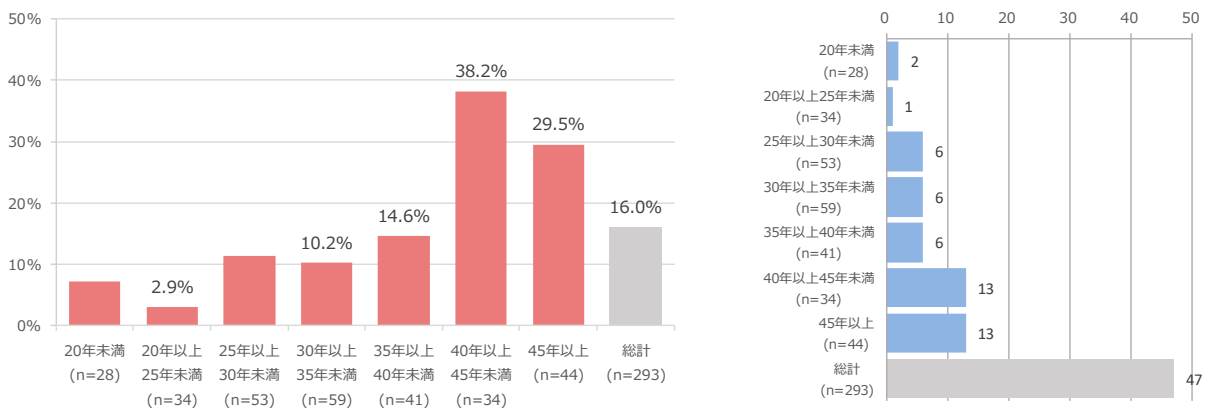
## ＜築年数別の分析＞

### 2-3-8. 断熱改修工事と同時に「耐震工事を実施した事業」：築年数別の分析

※「断熱回数改修工事と同時に実施した工事」の設問より、「耐震工事」の項目のみ抜粋

- 築年数が40年以上の住宅では、40年未満の住宅と比べて、断熱改修工事と同時に「耐震工事を実施した」割合が高い傾向にある。

断熱改修工事と同時に「耐震工事を実施した事業」



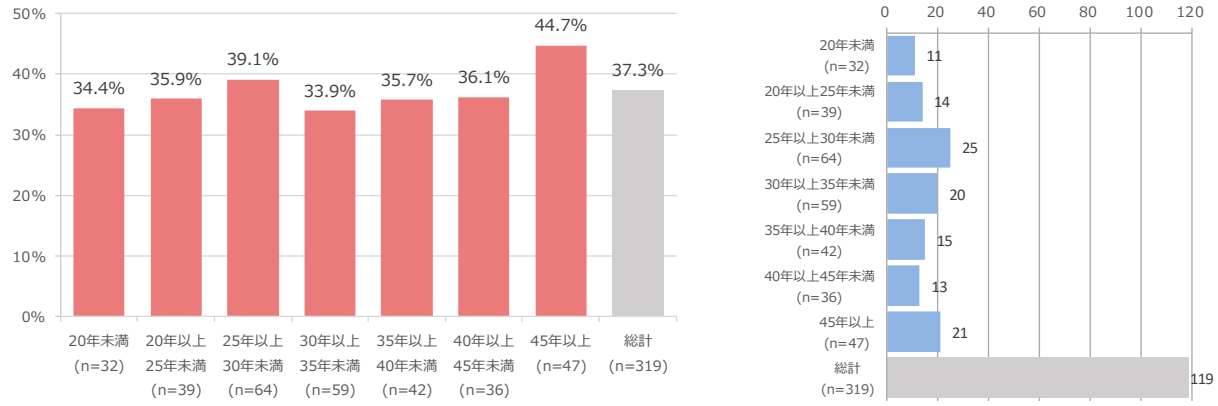
	20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上40年未満	40年以上45年未満	45年以上	総計
%	7.1%	2.9%	11.3%	10.2%	14.6%	38.2%	29.5%	16.0%
N	(28)	(34)	(53)	(59)	(41)	(34)	(44)	(293)

## 2-3-9. 断熱改修工事後に「暖房の使用頻度が減り、光熱費が安くなった」: 築年数別の分析

※「断熱回数改修工事後の状況」の設問より、「暖房の使用頻度が減り、光熱費が安くなった」の項目のみ抜粋

- 築年数45年以上の住宅は、「暖房の使用頻度が減り、光熱費が安くなった」割合が44.7%と最も高い。
- 一方で、築年数45年未満の住宅は「暖房の使用頻度が減り、光熱費が安くなった」割合が、40%以下。

断熱改修工事後に「暖房の使用頻度が減り、光熱費が安くなった」

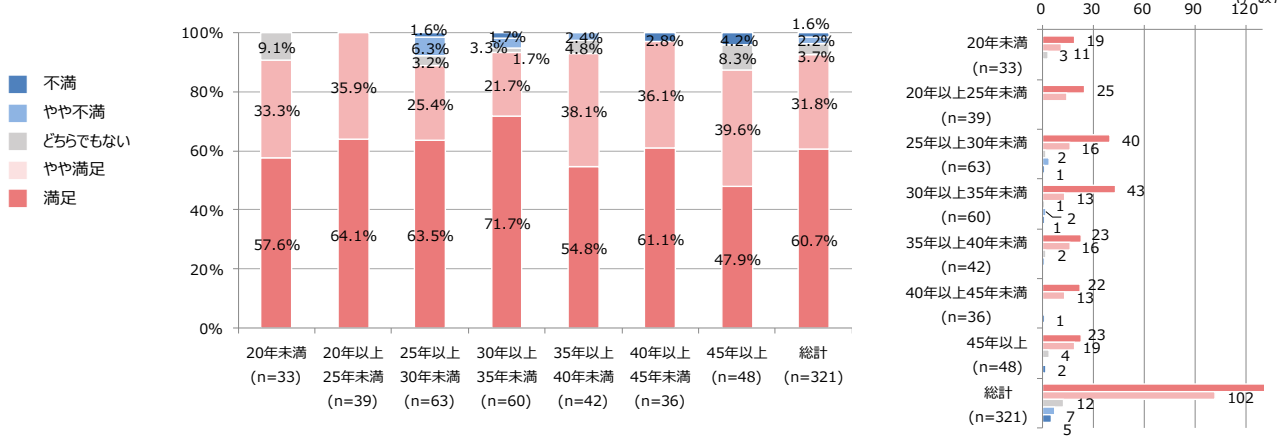


	20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上40年未満	40年以上45年未満	45年以上	総計
%	34.4%	35.9%	39.1%	33.9%	35.7%	36.1%	44.7%	37.3%
N	(32)	(39)	(64)	(59)	(42)	(36)	(47)	(319)

## 2-3-10. 断熱改修工事の満足度: 築年数別の分析

- 築年数に関わらず、約90%の事業者が「満足」「やや満足」と回答。
- 特に築年数30年以上35年未満の住宅では、「満足」が70%以上を占める。

断熱改修工事の満足度



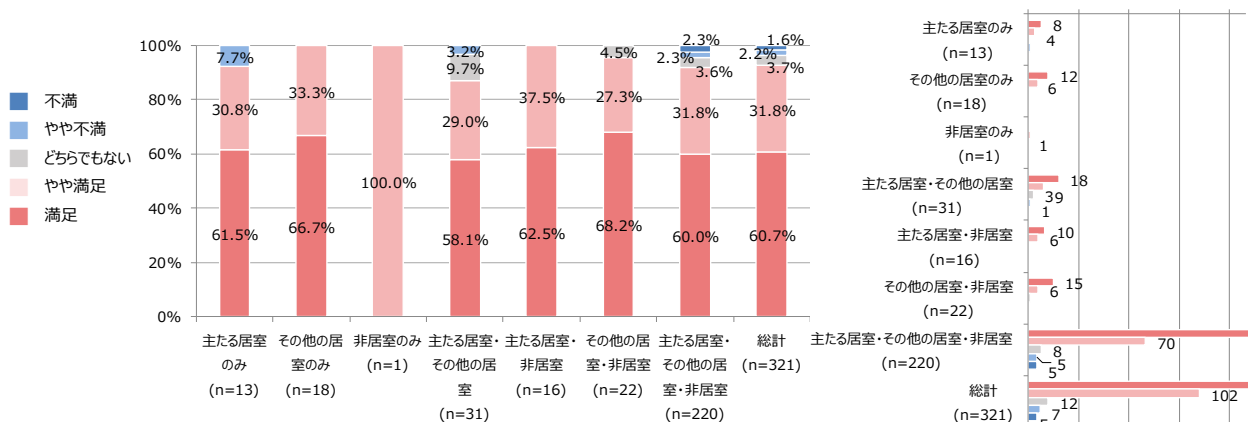
	N	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
20年未満	(33)	57.6%	33.3%	9.1%	0.0%	0.0%
20年以上25年未満	(39)	64.1%	35.9%	0.0%	0.0%	0.0%
20年以上25年未満	(63)	63.5%	25.4%	3.2%	6.3%	1.6%
20年以上25年未満	(60)	71.7%	21.7%	1.7%	3.3%	1.7%
20年以上25年未満	(42)	54.8%	38.1%	4.8%	2.4%	0.0%
20年以上25年未満	(36)	61.1%	36.1%	0.0%	0.0%	2.8%
20年以上25年未満	(48)	47.9%	39.6%	8.3%	0.0%	4.2%
総計	(321)	60.7%	31.8%	3.7%	2.2%	1.6%

## ＜断熱改修した部屋の組み合わせ別＞

### 2-2-11. 断熱改修工事の満足度：断熱改修した部屋の組み合わせ別

- ▶「その他の居室のみ」と「非居室のみ」「主たる居室・非居室」を改修したグループは、全事業者が「満足」「やや満足」と回答。 ※「非居室のみ」はn数僅少のため参考値。
- ▶「主たる居室のみ」を改修したグループが、「不満」「やや不満」の割合が最も高く、7.7%。

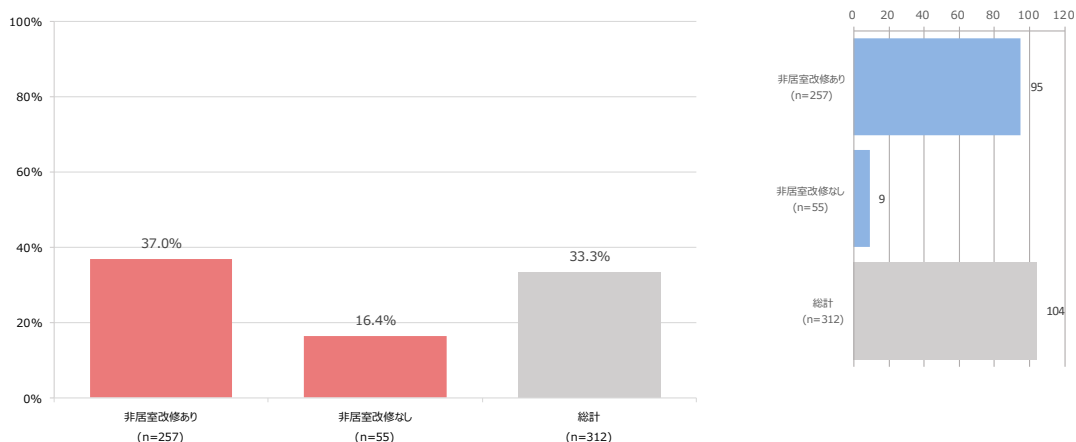
断熱改修工事の満足度



	N	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
主たる居室のみ	(13)	61.5%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%
その他の居室のみ	(18)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
非居室のみ	(1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主たる居室・その他の居室	(31)	58.1%	29.0%	9.7%	3.2%	0.0%
主たる居室・非居室	(16)	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の居室・非居室	(22)	68.2%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%
主たる居室・その他の居室・非居室	(220)	60.0%	31.8%	3.6%	2.3%	2.3%
総計	(321)	60.7%	31.8%	3.7%	2.2%	1.6%

「非居室」を改修したグループでは、「各部屋の寒暖差が解消されヒートショックの心配が減った」と回答した事業者の割合が高い。

断熱改修工事後の状況 各部屋の寒暖差が解消されヒートショックの心配が減った



	非居室改修あり	非居室改修なし	総計
%	37.0%	16.4%	33.3%
N	(257)	(55)	(312)

## 2-2-13. その他の補助事業者の声

### 断熱リフォームをして良かったと思うこと

- ・家が暖かくなり、生活が快適になる
- ・部屋の保温性が高まり、冬場も暖かく過ごすことができる
- ・各部屋での温度差が小さいので、ヒートショックの心配が減った
- ・遮音性が高くなり、外の音も気にならなくなった
- ・結露やカビがなくなった
- ・光熱費が抑えられる
- ・補助金制度が利用できた

### 断熱リフォームをして悪かったと思うこと

- ・新築戸建やマンションの方が良い
- ・工務店の設計能力が低い 製品知識がない 現場監督が無知
- ・電気代がどのくらいかかるか分からない
- ・補助金を申請してくれる業者がなかなか見つからない